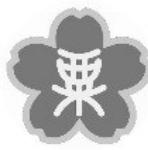


令和7年度 粟ノ保小学校だより

令和7年7月1日 NO. 5



ひまわり

スローガン【すべては 子どもたちの 幸せのために】

羽咋市立粟ノ保小学校

◇避難訓練(火災) ◇6/17 (火)

「命を守る訓練」:火災避難訓練をしました。真剣に取り組む様子が伝わるものでした。総合訓練を行い役割分担を確認しました。実際に①～④を行い、消防署員に誘導や職員の動きなども指導していただきました。理科室より出火。火災発見から放送指示に従って運動場へ避難する。

- ① 緊急放送を聞く(火元がどこ、どこへ逃げるか)
- ② 職員室から119番へ実際に電話する
- ③ 児童は担任の誘導で外へ移動 (消防署員による避難行動チェック)
- ④ 先生全員・5年・6年児童による消火器操作体験

放送後から運動場集合完了まで2分06秒でした。火災は「いつ」「どこで」発生するか分かりません。かしこくないと避難できません。一番大事なのは、パニックにならず、放送をよく聞いて行動することです。自分勝手な判断が一番ダメです。羽咋消防署員からは、避難の仕方やハンカチで鼻を押さえての避難が大事であるとの話をして下さいました。今回は、一連の流れを職員、児童で確認でき、有意義でした。4月から地震、火災と2回。7月は不審者対応訓練です。



◇授業参観、第1回学校関係種評価委員会 ◇6/27 (金)

今年度2回目の授業参観がありました。張り切っている様子が伝わりました。そして、第1回学校関係者評価委員会を校長室にて開催し、本校の取組みを紹介し、積極的に発言している点を褒めていただけました。課題は今後改善していきます。



裏面あります

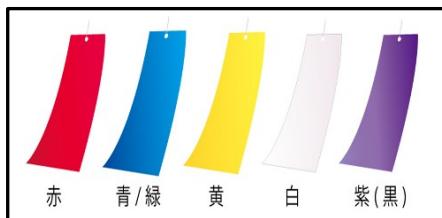
◇全校集会：校長の話◇7/1(火)

7月に入りました。水泳が始まりました。それにちなんで水泳の話をしました。イヌ、ネコは泳ぐことができるか聞きました。泳げると答えてくれました。では、ゾウは？へびは？と聞くと「どうかな」と悩む姿も見られましたが、すべて泳ぐことができます。人間は？もちろん泳ぐことができます。息継ぎがポイントです。練習を重ねて、より長く・より速くを目指してほしいです。

さて、7月といえば、七夕。七夕といえば、織姫と彦星のお話にもふれました。



七夕の日には、竹の笹に願い事を書きます。願いを書く短冊には5色あることについて話をしました。みんななら「何色の短冊に、どんな願い事」を書くでしょうか？



ちなみに、赤（感謝）、青（成長）、黄（人間関係）、白（達成）、紫（学業）です。

皆さんにとって関心が高い、よく書く願いごと「勉強が出来ますように」「英検合格できますように」などは、紫の短冊に書くと良いそうです。夏休みは目前です。集中して頑張ってほしいです。

◇ちょっと 雑学◇

一つ目。芥川龍之介の『くもの糸』という小説。いつも悪いことをしている「カンダタ」という人物が、たった一度だけよいことをします。野原を歩いているとき、カンダタは一匹のくもに出会います。いつものように踏みつぶそうとしましたが、かわいそうに思い助けるのです。

カンダタが生きているとき、生涯でたった一度よいことをしたわけです。

カンダタが死んで地獄に落ちます。苦しんでいると一本のくもの糸がカンダタを助けようと下りてきます。カンダタは必死でくもの糸をよじ登り、地獄からの脱出を図りますが、自分だけ助かろうとして糸が切れ、再び地獄へ落ちてしまう。自分さえよければという考えがダメだということを教えてくれているようです。



二つ目。「情けは人の為ならず」という昔からのことわざがあります。本当の意味を知っている人は少ないのです。間違えて捉えている人が実に多い。これは「情けは人の為ならず、自分の為なり」ということなのです。つまり、「他人にやさしくするのは、その人のためではなく、自分のためなのだ」ということです。やさしく言えば、「他人にやさしくするのは、自分が他人からやさしくされること」なのです。



2つの例をあげました。よいことをすればよいことが、悪いことをすれば悪いことが、必ず自分に返ってくる。世の中本当に不思議です。言い古された言葉ですが、「人の嫌がることはしない」「自分にしてほしいことをする」ということですね。